

平成25年12月26日

宜野湾市長 佐喜眞 淳 殿

普天間高等学校同窓会
会長 宮城 政一

普天間高等学校の移転に関する要望書

日頃、普天間高等学校の教育活動へのご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、普天間高等学校は、文武両道の実践を学校経営の根幹とし、県内でも有数の進学校として成果を挙げ、地域に信頼される学校となっております。

しかしながら、普天間高等学校は約3万㎡しかない狭隘な学校敷地であり、1200名の生徒のニーズに応えた教育活動や課外活動を行うには様々な支障があり、さらに、本校の教育ビジョンや学校像を推進していくためには、ゆとりと潤いのある教育環境が必要です。これまでの狭隘な敷地や立地条件ゆえの劣悪な状態を改善し、教育の場にふさわしい豊かな教育環境を整え、十分な敷地や立地条件を満たす普天間高等学校の移転は緊要であります。

この度、同窓会としまして、後輩並びに学校の支援のため、平成25年12月18日、県知事及び県教育委員会教育長に対し普天間高等学校の移転に関する要望書を別添のとおり提出いたしました。

つきましては、普天間高等学校の移転に関し、沖縄県とご協力の上、キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区返還跡地利用等も勘案して貴台の格別のご高配を賜りますようお願いいたします。